

# なんたんリハビリ通信 2020.7

## 体外衝撃波治療について

整形外科では2017年10月より「体外衝撃波治療器」を導入しています。医師が治療計画を立て、理学療法士または作業療法士が治療を行います。

「衝撃波」とは音速を超える圧力のことで、体外衝撃波の治療は、もともと胆石を安全に破壊するために用いられてきました。整形外科への応用は1990年代、ヨーロッパを中心に始まり、日本では2015年2月に「厚生労働省の薬事承認」を受けました。整形外科で使用する場合、胆石破壊の1/10程度の弱い衝撃波を用います。本院では「DUOLITH SD1®」という機器を使用しています。

この治療には整形外科医師の診察が必要です。かかりつけ医を受診されている方は、紹介状をご持参いただき、本院「地域医療連携室 TEL0771-42-5061」から整形外科の予約をお取りください。

体外衝撃波治療では「難治性(6ヶ月以上治療している)足底筋膜炎」は保険適用になります。また、「アキレス腱炎・アキレス腱付着部炎・膝蓋腱炎・ジャンパー膝・上腕骨外側上顆炎(テニス肘)・上腕骨内側上顆炎(野球肘)・石灰沈着性腱板炎」は保険適用外で自費診療になりますが、国際体外衝撃波治療学会(ISMST)では、これら疾患にも有効であるとされています。

### ～ 当院の体外衝撃波機器治療の費用(例) ～

疾患名	保険	治療回数	料金
難治性足底筋膜炎	保険適応	3回	自己負担10割で50000円 (自己負担3割の方は15000円)
その他の疾患	保険適応外	3回	1回目 8800円(税込) 2・3回目 2750円(税込)

DUOLITH SD1®



実際の治療



# スプリント療法について

## 【スプリント (Splint) とは】

患部の固定・関節の変形予防や矯正などを行うために利用されるものであり、患者さんの関節や手の形に合わせて、軟化するプラスチックのシートを加工して作ります。主に、関節リウマチ、熱傷、脳血管障害、末梢神経障害の患者さんに使用します。当院では作業療法士が医師と相談の上で、目的に合ったスプリントを作成し手の機能回復を図ります。

## 【スプリント療法の目的】

- ・皮膚や関節の安静を図るための固定や保護目的。
- ・機能的肢位の保持、関節の変形予防、関節可動域の拡大や変形の矯正目的。
- ・動かなくなった筋(麻痺筋)の代用、筋肉や腱などの滑走の改善目的。

## ～ 加工の手順 ～

### 材料と工具



材料となるシートを加工しやすいように軟化させます。

### 加工



軟化したシートを患者さんの手に合わせて硬化させます。

### 完成



脱着しやすいようにマジックテープなどをつけます。

## ～ スプリントの種類 ～

### 掌側カックアップスプリント



橈骨神経麻痺などに使用し手関節を良肢位に保ちます。

### マレット・フィンガー用スプリント



腱断裂や骨折をとまなう突き指に使用します。